

以下に参考のため、これまで、私の担当した「数学講究」で読まれた本の一部を挙げます。

- (1) 杉浦光夫 著：『ユニタリ表現入門』, 東京図書, 2018 年
- (2) A.H. コルモゴロフ 他著：『コルモゴロフの確率論入門』, 森北出版, 2003 年
(丸山哲郎, 馬場良和訳)
- (3) H.M. スターク (Stark)：『初等整数論』, 現代数学社, 2000 年
(芹沢正三, 安藤四郎訳)
- (4) 高木 貞治 著：『代数的整数論』, 岩波書店, 1971 年
- (5) 清宮 俊雄 著：『改訂版 幾何学 — 発見的研究法』, 科学振興社, モノグラフ 15, 1988 年
- (6) 浅野 啓三, 永尾 汎^{ひろし} 共著：『群論』, 岩波全書, 岩波書店, 1965 年
(第 6 章 の有限群の表現の話題)
- (7) 小林 吹代 著 『マルコフ方程式』, 技術評論社, 2017 年
(方程式 $x^2 + y^2 + z^2 = 3xyz$ の整数解の話)
- (8) 木村 俊一 著：『連分数の不思議』, ブルーバックス 講談社, 2012 年
(ひまわりの花の種が描くうずまぎと Fibonacci 数や黄金数との関係)
- (9) 中村 滋 著：『改訂版 フィボナッチ数の小宇宙』, 日本評論社, 2008 年
- (10) 三宅 敏恒 著：『微分方程式』, 培風館
- (11) C.F. ガウス (Gauss) 著：『ガウス整数論 (数学史叢書)』, 朝倉書店, 1995 年
(高瀬正仁訳)
- (12) E. アルティン (Artin) 著：『ガンマ関数』, 日本評論社, 2002 年
(上野健爾訳)
- (13) 山内 恭彦, 杉浦 光夫 著：『連続群論入門』 (新数学シリーズ 18) 培風館 1960 年
- (14) 戸田 盛和 著：『楕円関数入門』, 日本評論社, 2001 年
- (15) 雪江 明彦 著：『代数学 3 — 環と体とガロア理論』, 日本評論社, 2010 年
- (16) Kenkichi Iwasawa 著: 『Local class field theory』, Oxford University Press, 1986 年

など. その他にも [ここ](#) を覗いてみるとよい.